

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(751)9128
担当部課名	消防本部	防災	課	
事務事業名	防災資機材整備費		事業コード	23120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63 年度
施策名	第2施策	防災対策の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

・災害対策基本法 ・相模原市地域防災計画
----------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
災害時における、被災者用の食料、生活資材及び防災活動用機材の備蓄及び機器等メンテナンス		被災者	
		対象数	約35,000人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>乾パン、アルファ米等食料</li> <li>毛布、敷きシート、仮設トイレ等生活資材</li> <li>携帯発電機、投光器、ラジオ付ライト等照明機材</li> </ul> 上記物品を購入し、各倉庫へ配置 ・備蓄品等維持管理、井戸保守点検等委託		被災者の生活を維持するため、非常用食料、生活必需物資等の備蓄を進める。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 防災資機材購入計画	
		計画年次 11年度 ~ 14年度	
		予算の範囲内での品目と数量の調整	

4 評価指標

指標名	当面の食料備蓄目標充足率	当面の資機材備蓄充足率
指標式	$188,400 \text{ (現備蓄数)} \div 314,000 \text{ (備蓄目標数)} \times 100 = 60\%$	備蓄品11品目(H11、H12は10品目)の備蓄充足率(備蓄数÷備蓄目標数×100)の和÷11 = 備蓄資機材単純充足率
指標設定の意図	相模原市地域防災計画の想定被害者数34945人分の3日分の食糧31400食の60%を当面の備蓄目標値とした充足率を表わす	避難所生活に必要なと思われる応急資機材の単純充足率を表わす

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標	77	82	c 88	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	49,667	44,534	39,669	30,049	
	人員・時間数	1人・1ヶ月	1人・1ヶ月	1人・1ヶ月	1人・1ヶ月	
	人件費	700	700	700	700	
	その他経費					
	合計	50,367	45,234	40,369	0	30,749
特定財源	19,343	16,945	16,464		9,000	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100% )	= 、 、 の平均値 = 94.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない ( 80%> )		
a	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	c	$\frac{88.0}{100.0} \times 100 = 88.0\%$
b		d	
理由 : 予算の範囲内で購入せざるを得ないため、被害想定に対する充足率に達していない			

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 被災者の避難生活を支える食料や資機材は必要。	
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 : 非常用食料は賞味期限があるため、ランニングコストがかかるが現状ではやむをえない。	
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 流通在庫での対応等考慮されるが、災害初期の対応分であり自前の備蓄で行う。	
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 一定の備蓄品目、数量等は各避難所倉庫等に配置されている。	
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 災害発生時の生活に必要な食料、生活必需物資の備蓄であるため。	
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 市民ニーズや新しい商品開発に応じた品目の見直し
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 期限切れ食料品等の処分方法

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	備蓄品目の見直しや備蓄目標値の設定を行いながら継続して進める。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input checked="" type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了	説明		

8 二次評価における変更点

--